

地元男性手作り豆腐人気

津・再興 院展 会場 限定20個連日完売

再興院展の会場で「深山の桜豆腐」を販売する井上敦さん



業を継承するしかない」と起業を決意した。

再興院展会場で販売するのは、国産大豆にがりで作った「深山の桜豆腐」（税込み145円）。卸先は桜江町の商店が中心だが、同美術館から「桜江の豆腐を広く知ってもらおう機会になるのでは」と声を掛けら

親子で学ぶ
松江城と城下町
定価／本体1,000円＋税
本のご注文は
0652-32-3420

れ、会期中限定で販売することになった。

購入者からは「昔懐かしい味」「大豆の風味がしっかりしている」と好評。井上さんは「大勢の来館がある再興院展の期間中に販売機会を与えてもらい、本当にありがたい。励みになる」と喜んでいる。

再興第98回院展が開かれている、江津市桜江町川戸の今井美術館の売店で、地元で今春起業した男性の手作り豆腐が人気を集めている。8日までの会期中、1日20個を限定販売しており、連日完売と好評だ。

男性は、今年3月まで同町商工会の経営指導員だった、同市桜江町谷住郷の井

上敦さん(41)。空き店舗対策などを担当していたが、後継者不足で地域から次々と商店が消えていくのに危機感を抱き、町内唯一の豆腐店が昨年廃業したのを機に「自分が地域の商店の事